

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 新潟市北地区公民館と「一休さん」

- 4.5 **トピックス** 第58回新潟県公民館大会
- 3 **視点** 小千谷に暮らして
- 3 **ひろば** 自分探しは自分の足で
- 6 **実践記録シリーズ** 豊栄地区一地域づくりを展開中
- 7 **サークル交流** 西回り松本街道を歩こう (糸魚川市) / 今日の花は何か (豊籠町)
- 7 **素顔拝見** 松田 徹さん (新発田市) / 斎藤 洋美さん (阿賀町)



「ジュニアリーダー研修会」  
佐渡市公民館

表紙解説  
夏休みに小学校3～6年生を集めての研修会。竹のおもちゃ作りやマリンスポーツ体験をして楽しく過ごしました。



# 第58回新潟県公民館大会

## 7・16中越沖地震災害で開催中止、紙上大会で

新潟県公民館連合会会長 三保恵美子

7月16日午前10時13分新潟県上中越沖を震源としたマグニチュード6.8の大きな地震に襲われました。県内では、柏崎市、刈羽村、長岡市の小国町で震度6強、揺れは県北、佐渡、能登半島、長野県にも広がり、死者、重軽傷者も多く、住宅被害、道路や鉄道の寸断、電気、ガス、水道などのライフラインも止まり、甚大な被害を受けました。

公民館をはじめ、多くの公共施設が避難所となり、被災された方々が不安をいだきながら、そこですごしていらっしゃいます。公民館職員も地元はもとより、各地から応援に駆けつけております。被害にあわれた皆様に対しましては、謹んでお見舞いを申し上げますと共に、くれぐれも健康に留意され、一日も早く落ち着いた生活が戻ってきますことを心からお祈り申し上げます。

新潟県公民館連合会では、4日後の7月20日に村上で第

58回新潟県公民館大会を予定しておりましたが、このような事情から、中止を決定しました。

しかし、開催地の県北の皆さんをはじめ、多くの方々が7月20日をめざして準備を重ねてこられ、資料集も当日、参加の皆さんにお渡しできるよう完成しておりました。大会は大切な研修機会の一つでもありますので、当日の基調講演をお願いして、当日の片野親義様にご執筆をお願いして、後日、紙上での大会という形にいたしました。あの時、地震の大きな揺れに耐えながら、3年前に中越

地震の洗礼を受けたのに、なぜまた？と思われた方も多かったと思います。「災害は忘れた頃にやってくる。」ということわざは過去の話。地球温暖化の影響もあって、いつ、どこで、どんな災害が来てもおかしくない。常に地震や水害をはじめとする様々な災害に対する心構えが必要だとの思いを強くしたのは私だけではないと思います。

地震や水害を経験した私達は、災害の中で地域住民や公民館の利用者をどう守っていいのか模索してきました。公民館が避難所に指定されてい

る所はもちろん、指定されていなくても津波や揺れへの心配から、公民館に避難してこられた地域の方がいらっしゃる。頼りになる地域の施設として、職員も信頼にこたえるよう努力していく必要があると痛感しています。

最後になりましたが、大会開催の準備、中止の事後処理、そして紙上大会の作業を担当してくださっている村上市岩船郡公民館連絡協議会、下越教育事務所、村上市教育委員会、村上市岩船郡教育委員会、連絡協議会の皆様にあつくお礼申し上げます。

### — 謹んで中越沖地震災害のお見舞いを申し上げます —

この度の地震により被害を受けられました中越地区の皆様、心からお見舞い申し上げます。このうちは、一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

新潟県公民館振興市町村長連盟 会長代行 吉田 和夫 役員一同

新潟県新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内  
新潟県公民館連合会 会長 三保恵美子 様

この度の新潟県中越沖地震により、甚大な被害を受けられました貴傘下の公民館関係者の皆様、謹んでお見舞い申し上げます。

また、その対応にご尽力されている皆様に対しまして、敬意と感謝を申し上げます。

今後、健康には十分にご留意なされて、一日も早いご再興を衷心よりお祈り申し上げます。

社団法人全国公民館連合会 会長 松下 誠  
全国公民館振興市町村長連盟 会長 前田 穰



# 視点

## 小千谷に暮らして

小千谷ふるさとの丘ユースホステルペアレント 南 忠詞



私が、ユースホステル開業のために小千谷に来てから7年が過ぎた。その間、中越大震災に被災し、1年以上休業するという不運に見舞われたものの、小千谷に来たことは間違いではなかったと感じている。

花火、闘牛、錦鯉、織物(縮み、紬)といった名物もさることながら、小千谷の魅力は厳しい雪国の暮らして育まれた人情にあると言える。突然ムラに入り込んだよそ者である私に対して、開業に向けての様々な手助けを下さり、震災時の避難所では、「一緒に

帰ろう」と言って下さった地区の皆さんのおかげで再開することができた、と言っても過言ではない。

こうした厚い人情は、お客さんにも同様に向けられ、リピーターの多さにつながっていると思われる。

雪国で育まれたものとして、もう一つ挙げられるのが豊かな自然で、カタクリをはじめとする豊富な山野草や山菜も大きな魅力である。

厚い人情と豊かな自然の小千谷に、是非一度足をお運び下さい。

# H O T N E W S

## 掲 示 板

第58回 新潟県公民館大会

### 永年勤続受賞者

新潟県公民館連合会

|   | 氏 名   | 所属公民館並びに役職             |
|---|-------|------------------------|
| 1 | 熊谷いみ子 | 新潟市石山地区公民館<br>非常勤嘱託    |
| 2 | 市川 京子 | 新潟市曾野木地区公民館<br>運営審議会委員 |
| 3 | 桜井 園子 | 前新潟市新津地区公民館<br>運営審議会委員 |
| 4 | 大久保栄作 | 燕市中央公民館<br>運営審議会委員     |
| 5 | 斎藤 喜平 | 胎内市公民館<br>運営審議会委員      |
| 6 | 高橋 雄平 | 神林村公民館<br>館長           |

## 自分探しは自分の足で

# ひろば

見附市中央公民館運営審議会委員 北村 陽子

歩くことは健康に良いと言われているが、心の健康にも役立つと思う。

季節ごとに変化する空気が草花のおいを感じ、時には懐かしいにおいにつられて小さい頃の記憶をたどる。今までは車や自転車で行けないと思いついていた所も、歩いてみると案外たいした距離じゃない。私が暮らしているこのまち

は、思っているよりも小さいのかもかもしれない。

そんなふう感じていた頃、公民館で開催された講座に参加した。そこでは、このまちの可能性や、自分はこの中で何ができるのかを考えさせられた。

このまちは、全然小さく

なんてなかった。たまには足を止めて、まち全体を見渡すことも必要なんだと気付いた。まだまだ知らなかったことがあり、それを知るためにはどれだけ歩けば良いのだろう。学ぶことはたくさんある。ありがたしい、わくわくする。

今はまだ漠然とした思いのままだが、とりあえずこれからも歩くことを楽しみたい。そして、このまちで何ができるのかをゆつくり見つけていきたいと思う。



# 「一休さん」



する」ことを目的としている。学生は、「一休さん」に参加するだけではなく、会の企画をすることで得られるものがある。企画で考えたレクリエーションを子どもたちから楽しんでもらえると、学生に笑顔が広がる。企画することは考える力にも繋がるので、実習先でレクリエーションを求められてもすぐに考えられる。

「一休さん」という学校でもなく家庭でもない場所で、子どもたちに楽しく遊んで学んでもらい、さまざまな人との交流をしてもらうために、各回の企画スタッフはたくさん考えている。初回の企画会議では、まず目的を検討する。目的は、企画の元になるのでしっかり考えるようにしている。企画がある程度固まってきたら、「一休さん」のリーダーである私や副リーダーや北地区公民館の「一休さん」担当者の服部さんに報告する。そうすることで、企画者だけだと気づかないことに気づくことがある。「一休さん」を行う前週の金曜日には、北地区公民館で「公民館会議」を行っている。「公民館会議」は、企画スタッフ・公民館・地域の方・リーダー等で、企画の確認をする。当日スタッフへの説明は、「一休さん」を行う週の水曜にしている。

「一休さん」には、リーダー・副リーダー・スーパーバイザーといった役職の学生がいる。

リーダーは、「一休さん」に参加してくれる小学生の募集チラシを作ることから始まり、企画書のチェックや、各回の企画が円滑に進行するよう全体を見ている。

### 3. 私と「一休さん」

私が、レクアの活動の中で初めて参加したのが「一休さん」であった。子どもたちと話せるか等の不安もあったが、「一休さん」の子どもたちは、明るく元気な子が多いのですぐに仲良くなることができ、子どもたちと話が弾んだり、先輩が子どもたちと私の間に入ってくれたりもしたので楽しく過ごすことができた。「一休さん」があまりにも楽しく、子どもたちともっと関わりたい、そして子どもたちの笑顔が見たいと思い、私は「一休さん」の副リーダーになり、今年からはリーダーになった。

リーダーになり、地域との関わりが持てる点や、物事を広い視野で考えられるようになったことなど、自分にとってプラスになることがたくさんある。時には、責任というものが重くのしかかり倒れそうにもなるが、レクア部員や地域の方、公民館の方たちが私を支えてくれる。それに辛いことよりも楽しいことの方が多いので、これからも「一休さん」に関わりたいと思う。



# 特集

# 新潟市北地区公民館と「一

一休さんリーダー  
新潟医療福祉大学学生

田中 洋子



北地区公民館と新潟医療福祉大学のレクア。(ドット)コム部(以下レクア)が協力している取り組みの一つに、完全学校週5日制対応事業少年クラブ「一休さん」(以下「一休さん」)があります。北地区公民館をはじめ、地域の方や保護者の方、学生で運営している「一休さん」について紹介させていただきます。

## 1. 「一休さん」のはじまり

「一休さん」は、平成13年度に開催していた「寺子屋」という地域の保護者の方と、新潟大学の学生を中心とした“子どもたちの居場所”を目的とした事業を引き継いだものである。平成14年度からは、新潟大学の学生が撤退し、新潟医療福祉大学の学生がメインとなり、名称も「一休さん」と変わった。

「一休さん」の由来は、アニメで一休さんがCM前に「あわてない、あわてない。一休み、一休み。」と言う言葉からきている。最近は、学校での勉強以外に塾や習い事をしていて忙しい子が増えていると思う。また、少子化が進んだことや、安全に遊ぶことのできる場所がなくなりつつあるなかで、子どもたちが異年齢の人々と交流する機会が少なくなってきているように感じる。そのような子どもたちが異年齢の人々と交流し、ゆっくり楽しめる場所にしていきたいという思いが、「一休さん」

の名前に込められている。

「一休さん」は遊びをコンセプトにして、自然・文化・スポーツ体験などの様々な体験活動や、地域の方たちとの交流を通して、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ機会にしたいと立ち上がり、現在もその思いから活動をしている。

「寺子屋」から「一休さん」になったとき、今までのようにお昼をはさむのではなく、午前10時から12時の2時間で行うことになった。この他にも「一休さん」は、少しずつ変化をしている。これは、常に「一休さん」をどのように運営していくことが良いのかを考えているからである。たとえば、平成15年度までは全ての会を学生のみが企画していたため、学生の参加が難しい時期は「一休さん」を開催していなかったが、学生が企画できない時期は児童委員の方や、保護者の方が企画することになった。これにより学生は、大人たちの企画運営の行い方や自分たちでは思いつかないような企画内容を学んでいる。昨年度の地域企画では、「昔の遊び」と題して、花いちもんめやハンカチ落としなどをした。子どもたちはもちろん楽しそうだったし、学生や大人たちも懐かしさを感じながら楽しむことができた。

## 2. 「一休さん」の特色

「一休さん」は、「子どもたちに体験してもらおう」ということを目的としていると同時に、「学生と地域住民の交流を深め、地域の活性を図る」ことや、「学生たちへの経験の場を提供

# 実践記録

113

シリーズ



餅つきも疲れますねえ

## 豊栄地区一地域づくりを展開中

新潟市豊栄地区公民館 主任 原 義博

### 地域づくりによる人づくり・豊かな人間関係の創造

新潟市豊栄地区は、新潟市との合併以前の平成14年度から5地域での地域づくりを展開しています。それぞれの地域特性に合った地域づくりにより、人づくり・豊かな人間関係を創造し、地域の活性化を目指しています。

#### ○各地域の地域づくり

- ・葛塚地域は豊栄地区の中心市街地で、新たな自治会も誕生しています。このため、「自治会との連携による地域ネットワークづくり」を展開しています。
- ・木崎地域は農村地帯、新興住宅地、工業団地と混在しており、木崎コミュニティ・木崎エリアネットワーク等と連携し、若者発信の地域づくりを進めています。
- ・岡方地域は純農村地帯であり、「岡方さがし隊」を通じて地域発信・伝統文化を見直し、子どもたちを含めた世代間交流を図りながら事業を進めています。
- ・長浦地域は純農村地帯に一部新興住宅地が混在していますが、伝統芸能が盛んであり「長浦よさこいそーらんチーム」の会員拡大や、小学生の「ストロベリー⑮」チームの後継者づくりを目指しています。

#### 1 早通地域の地域づくり

早通地域は、新潟市のベッドタウン的な新興住宅地域であり、市民グループ「早通地域結び実行委員会」が平成14年度立ち上がりました。「クリスマスツリーづくり」をコミュニティ委員会や自治会などと連携しながら大きく発展させ、ふるさ



木に登って飾りつけ奮闘

と意識-「郷土愛を育む」-ことを目指しています。

「クリスマスツリー」に係る費用は、実行委員長の早川新八郎さんが主体となって、一般者からの寄付や、商工会の企業や店から寄付を募ったりしています。クリスマスツリーの飾る場所も、最初の15～16年度は早通公民館でしたが、多勢の人からも見られるように、17年度～18年度は早通駅北口に設置しました。コミュニティ委員会からはイベントの日に屋台村を出店してもらったり、餅つきを行ったりしています。また、早通地域の子ども会からもココアを出してもらったり、イベントには小中学生や大人の方及びプロの歌手等が、ステージで歌や踊りを披露しています。早通中学校の生徒の出演者も年々多くなっており、積極的に参加し、中学生が司会も進んで引き受けるほどになりました。「いい思い出になった」「とても楽しい時間を過ごした」などの感想を寄せています。また、早通中学校の校長や先生方も理解があり、積極的に応援してくれます。

#### 2 今後の課題・まとめ等

次第に早通地域における認知度が高まってきており、イベントが近づいてくると、地域住民からの励ましの言葉が返ってくるようになり、浸透・定着してきました。今後も継続の方針ですが、駅の南口にも設置することを検討しています。このため、設置費や電気代等の経費がかさむことから、経費捻出を如何にするかが課題となります。

また、この地域づくりは平成20年度で終了することから、来年度中に「早通結び実行委員会」のあり方を検討して行く必要があります。そして、コミュニティ委員会も加わっていることから、コミュニティへの移行も検討して行く必要があります。

このイベントを開催するにあたっては、様々な人との関わりがあり、子ども達の郷土を愛する心が芽生えてくるよう継続して取り組んでいく必要があります。



### 西回り松本街道を歩こう

西回り塩の道の会(会員90名)

古来より糸魚川から姫川の西岸を、信濃・甲斐へ通じた生活の道、交易や学問文化の道が松本街道(西回りの塩の道)です。この道がこの地域の生活の中に、年中行事、人情や風俗習慣として、今も生き続けています。故郷を愛する心から、この会を創立しました。

#### 会の目的

- 故郷を愛し自然に感動する
- 街道の歴史的な役割の認識
- 取り組み

一 街道に関わる石仏、石碑、古文書、絵図等の文化財



の保存、標識や案内板の設置

- 二 古道案内書の出版
- 三 夏、街道を歩く会(2日間)

- 四 秋、交流会で研究発表
- 五 会報(WEST松本街道)

糸魚川市

西回り塩の道の会  
代表 松田與四郎 記



### 今日の花は何かな

生け花サークル

私たち生け花サークルは、公民館で活動を行って10年になります。月2回、金曜の夜7時から会議室を借りて、楽しくおしゃべりしながら、「今日の花は何かな。どういうふ

うにいけようかな」と、創作意欲を沸かせる日々です。

いけ花を習っていて嬉しいことは、仲間づくりはもちろんですが、個性溢れる花々の名前が覚えられること、季節の花を家に飾れることです。

町の文化祭には、ふだんの稽古使い花ではなく立派な花材をいけて出品するので、少々緊張しますが、そこは先生を頼りに頑張っています。時々、公民館にも飾らせてもらっています。訪れる多くの人に見てもらい、少しでも癒しになればと思っ続けています。

聖籠町文化団体

生け花サークル

渋谷 美奈 記



「皆さんこんにちは。阿賀町公民館の斎藤です。」いつも元気な笑顔の洋美さんです。子どもたちが「ひろみ先生」と公民館にやってくると、ニコニコと優しい笑顔で出迎えますが、子どもたちの中に入ると、可愛くて小柄なせい、時々、高校生に間違われることがあります。本人はとても気にしているようですが、おじさん族にとっては「うら

阿賀町教育委員会社会教育係

主事 斎藤 洋美さん



やましい！」の一言。実は、とても素敵なお母さんでもあります。仕事面では、要領よくテキパキと仕事をこなしてくれるので、大変助かっています。子どもが小さい時は、何かと大変でしょうが、「阿賀町公民館だより」の編集長として原稿の取りまとめをお願いします。

(阿賀町教育委員会社会教育係 西川利之 記)

今年度、我が公民館に3名の職員が異動してきました。いずれ劣らぬ個性派であり、写真写りも大差が無い。結局、くじ引きで大当たりの松田さんを紹介します。松田さんは、青少年健全育成事業や文化祭を担当していますが、凄いのは何と言ってもパソコン操作です。ホームページの作成なんて朝飯前。その天才的早打ちには唖然とするばかりです。また、春に行われたイベントでは、飛

新発田市紫雲寺地区公民館

主任 松田 徹さん



び入り出演した「めがねダンス」が大好評。この4ヶ月でアツという間に周囲からの信頼を得ました。公民館職員の必須条件は3つのワーク。チームワークはもうバッチリ！フットワークも得意です。最後のネットワークは野球や得意の物まねを武器に、地域の人との繋がりを深めてくれることを期待しています。

(新発田市紫雲寺地区公民館 伊与部由香理 記)

## 素顔 拝見

# Network ネットワーク

## 平成19年度 下越地区公民館関係役員等研修会要項概要 合併で見えてくる公民館の新しいあり方(仮)

- 1 趣旨 (省略)
- 2 主催 下越地区公民館連絡協議会
- 3 共催 新潟県教育委員会 新潟県公民館連合会 五泉市教育委員会 阿賀町教育委員会
- 4 主管 五泉市・阿賀町ブロック
- 5 期日 平成19年9月28日(金)
- 6 会場 阿賀町公民館
- 7 対象 公民館役員、公民館運営審議会委員、社会教育・生涯学習関係者
- 8 日程

|      |       |       |       |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9:30 | 10:00 | 10:30 | 12:15 | 13:15 | 15:15 | 15:45 | 17:00 | 19:00 |
| 受付   | 開会    | 講演会   | 昼食    | 分科会   | 閉会    | 移動    | 情報交換会 |       |

- ← 阿賀町公民館 → ←会場未定→
- 9 記念講演会 講師 新潟市教育委員会教育政策監 手島勇平
  - 10 分科会 講演会終了後、5~10人のグループに分かれての分科会
  - 11 参加経費
    - ① 会議資料代 2,000円
    - ② 情報交換会費 6,000円
 ※9月7日(金)以降の取り消しについては、参加経費を負担していただきます。
  - 12 申し込み等 各市町村分を取りまとめの上、別紙参加申込書により8月17日(金)までに阿賀町公民館へFAX(0254-92-0083)で申込みをお願いいたします。
  - 13 会場案内 省略
  - 14 事務局 五泉市・阿賀町ブロック
    - ・五泉市公民館 (担当)玉木・宮内
    - ・阿賀町公民館 (担当)石田・西川
    - 〒959-1862 五泉市旭町7-11 〒959-4302 阿賀町鹿瀬8985-1
    - TEL/FAX 0250-43-4190 TEL 0254-92-3334
    - FAX 0254-92-0083

この度の中越沖地震に際しまして、謹んでお見舞い申し上げます。皆様のご被害が少ないことを心よりお祈り申し上げます。被災された多くの方たちのために、公民館も避難所になっていることと存じます。職員の皆様も心労いかばかりかとご拝察いたします。何かと不自由なことが多く、復旧作業も大変かと存じますが、お心を強くお持ちになり、復興へお励みになられますよう心よりお祈り申し上げます。本来なら、お手伝いに参上したいところですが、遠方ゆえ、それもかなわず、何のお役にも立てず申し訳なく存じます。まずは、取り急ぎ、書中にて、お見舞い申し上げます。

平成19年7月

新潟県公民館連合会 会長 三保

恵美子様

神奈川公民館連絡協議会 会長 神崎 節生

## event information

### 平成19年8月の催物ご案内

#### 星空におこがれて プラネタリウムと望遠鏡展

【プラネタリウム展示】  
プラネタリウムとは、太陽や月、星々の動きを再現し、どんな時刻の位置に居るのかをわかるシステムです。天文愛好者、天文の知識を深めたい方、理科好きの方、親子で楽しむのに最適です。観望の楽しみも増えます。

【天体望遠鏡展示】  
天体望遠鏡の構造や仕組み、使い方、観察の仕方、望遠鏡の種類、天体望遠鏡の選び方、望遠鏡のメンテナンス、望遠鏡の修理、望遠鏡の活用方法などについて、天文愛好者、天文の知識を深めたい方、理科好きの方、親子で楽しむのに最適です。観望の楽しみも増えます。

【星空観察】(体験コーナー)  
星空観察の楽しみ、観察の仕方、観察の場所、観察の時間、観察の道具、観察の服装、観察の準備、観察の安全、観察の楽しみ、観察の思い出、観察の報告、観察の感想、観察の感想文、観察の感想文コンクールなどについて、天文愛好者、天文の知識を深めたい方、理科好きの方、親子で楽しむのに最適です。観望の楽しみも増えます。

PLANETARIUM & TELESCOPE

星空におこがれて  
プラネタリウムと望遠鏡展

7月21日(土) - 9月2日(日)

開催時間 10:00 - 18:00 (入場無料)

入場料 大人1,000円 小学生500円 中学生800円 高校生1,000円

新潟県立自然科学館

〒951-8503 新潟市中央区川端町2-9

TEL 025-224-6073 FAX 025-224-6073

**あ と が き**

第58回県公民館大会は、7・16中越沖地震災害のため中止せざるを得ませんでした。中止決定後の小野実行委員長さんをはじめ、スタッフの方々の事後処理対応により、参加予定者に周知できましたこと、心から感謝申し上げます。

また、全公連はじめ、災害お見舞い状をいただいております。(鈴木 記)